

TOTO

オートクリーンU (個別小便器用自動洗浄システム・US-A型)

TEA98型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



1-1



安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)




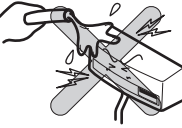
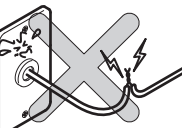
取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。


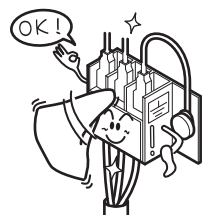
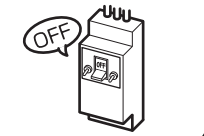
 禁止	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
 注意	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

 警告		
 禁止	コードを折り曲げたり、乱暴に扱わない 火災の原因になります。	
	水をかけない 火災や感電の原因になります。	
	電源コードが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。	
	電源コードの加工 (切断・継ぎ足し) を行わない 火災や感電の原因になります。	


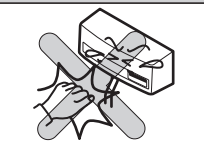



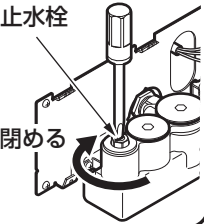
 警告		
 禁止	指定する電源 (AC100V) 以外では使用しない 火災の原因になります。	 交流の100V以外はダメ! ??
 水場使用禁止	浴室など湿気の多い場所には設置しない 火災や感電の原因になります。	
 分解禁止	絶対に分解したり、修理・改造は行わない 火災や感電の原因になります。	
 接触禁止	通電中は絶対に端子台にさわらない 感電の原因になります。	
 アース接続	アース工事 (D種接地) がされていることを確認する アース工事がされていないと、故障や漏電のとき、感電の原因になります。 アース工事はお近くの工事店に依頼してください。	 OK! アース線

1-2

⚠ 警告

 必ず実行	<p>端子・電源線の根元についたほこりは、定期的（月1回）に取り除き、根元まで確実に差し込む</p> <p>火災や感電の原因になります。乾いた布でふいてください。 ※この作業の前に、必ず電源ブレーカーが切っていることを確認してください。</p>	
	<p>お手入れのときには、必ず電源ブレーカーを切る</p> <p>感電の原因になります。</p>	

⚠ 注意

 禁止	<p>強い力や衝撃を与えない</p> <p>故障や水漏れの原因になります。</p>	
	<p style="text-align: center; background-color: #cccccc;">一般地用</p> <p>凍結が予想される場所では使用しない</p> <p>部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。</p>	
	<p>本体の通水路には抵抗となるような部材（オリフィスなど）をつけない</p> <p>洗浄性能への悪影響や水漏れのおそれがあります。</p>	
 必ず実行	<p>フィルターやピストンの掃除をする際は、いきなりふさぎふたをゆるめずに、止水栓または元栓を閉めてから行う</p> <p>水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 ※この作業の前に、必ず電源ブレーカーが切っていることを確認してください。</p>	<p>止水栓</p> 

2

仕様

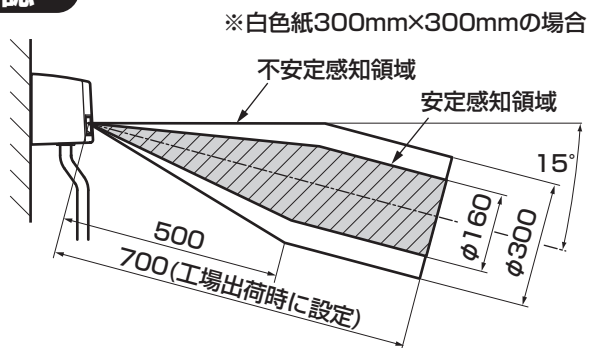
品番	TEA98型
商品寸法(mm)	103 (縦) × 270 (横) × 90 (奥行)
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	常時:5W以下、作動時:9.8W以下
感知距離	器具前面より70cm以内
前洗浄	切替スイッチ付き (出荷時:切)
手動洗浄	掃除用磁石 (別売品:TZ119) での作動
感知時間	本洗浄:5秒以上、前洗浄:2秒/5秒以上 (切り替え)
使用温度範囲	1~40℃
給水圧力	最低必要水圧:0.07MPa (流動時)、最高水圧:0.7MPa
吐水量	使用状況に応じて約2.5~5L/回 (ファジー制御)
給水接続部	15A (ねじサイズ:PJ1/2)
使用水	水道水

3

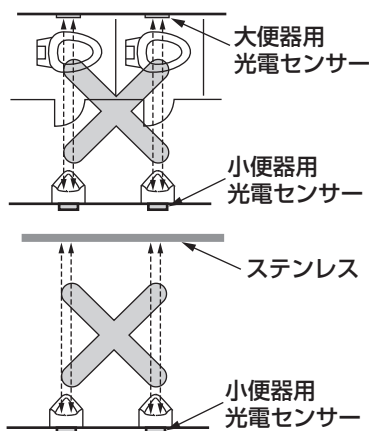
取り付け前に

1. 取付条件の確認

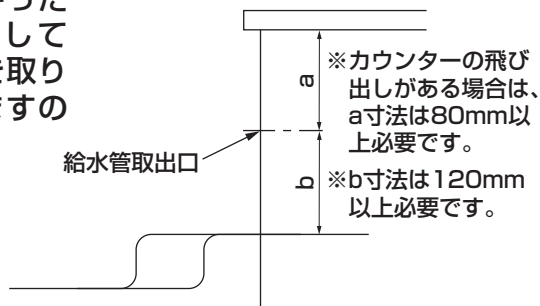
- 右図感知領域内（安定感知領域および不安定感知領域）に手すりなどの障害物が入るような現場は取り付けできません。



- 光電センサー正面の壁がステンレスなど反射しやすい場所への設置や、光電センサー同士（大便器自動洗浄システム用光電センサーを含む）が対向するような設置は誤動作を生じますので取り付けできません。



- 給水管取出口が陶器に近かったり、カウンターが飛び出しているとフラッシュバルブを取り付けできないことがありますのでご注意ください。（右図）



2. 給水圧力の確認

- 給水圧力範囲は、0.07～0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。
- 給水圧力が0.75MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2～0.3MPaに減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の水圧をおすすめします。

3. 配線について

- 電源はAC100V(50/60HZ)、最高消費電力は9.8W(寒冷地用の場合:ヒーター作動時 20W以下)です。
必ずこれに適した配線をしてください。
- 感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。
端子台裏側にはアース端子付きです。必ずアース(D種接地工事100Ω以下)工事を行い、アース線を確実に接続ください。
- 電源線・アース線は現場でご用意ください。
使用電線：600Vビニール絶縁電線またはケーブル
・φ1.6mm・φ2.0mmの単線(VVF,VVR)
・1.25～2.0mm²のより線(VCTF)
- 万一の際の危険防止のため、過電流遮断器および漏電遮断器を必ず設置してください。

4. 洗浄水について

- 給水は水道水に接続してください。井戸水・再生水・雑用水・温泉水・海水は使用できません。

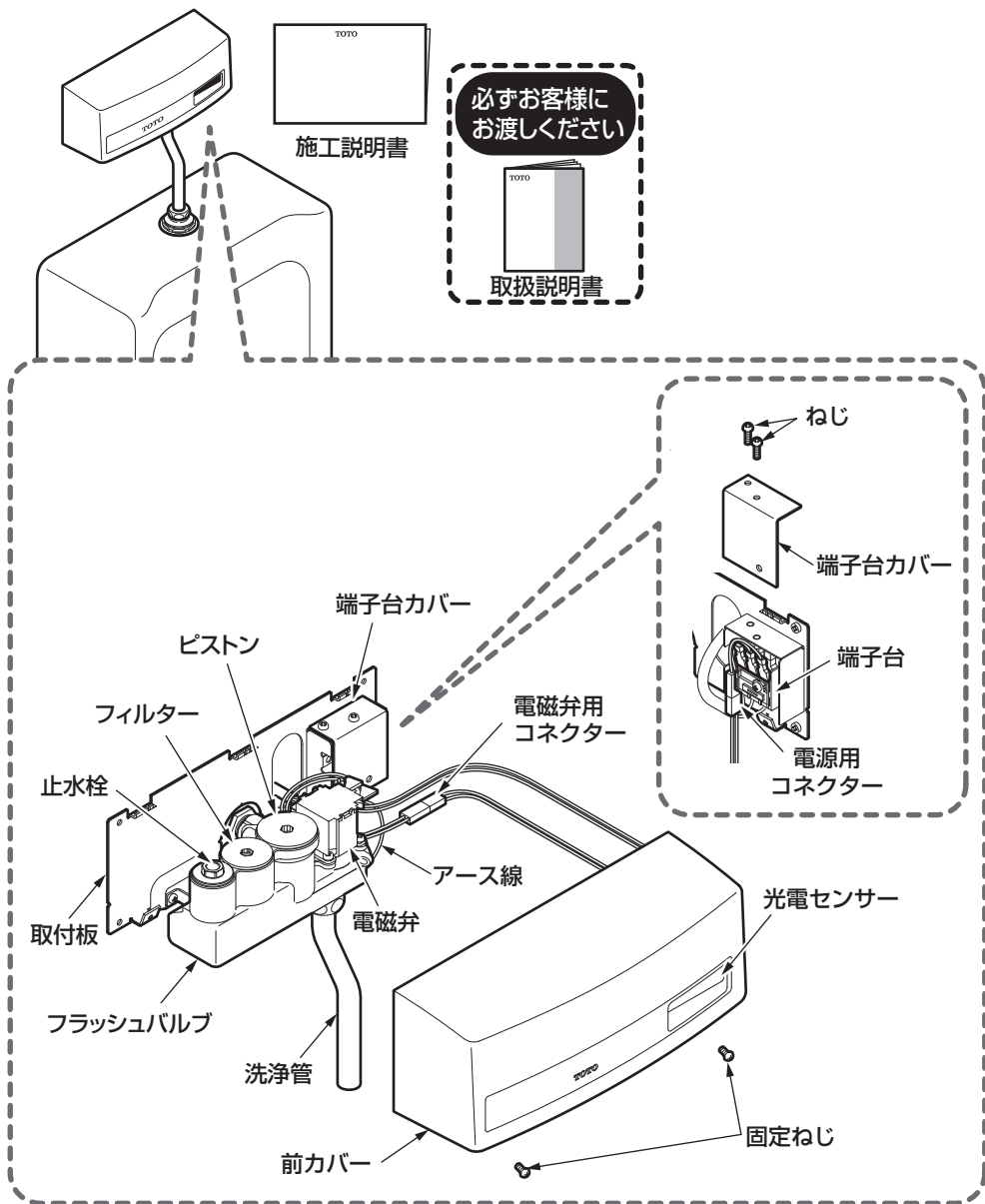
5. その他

- センサー面を傷つけないよう十分ご注意ください。
- インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。
- 太陽光が入る場所では太陽光の影響で光電センサーが作動（感知）しない場合があります。
- 水道工事と電気工事は、十分工程を打ち合わせのうえ、行ってください。
- 雨や水滴などがかかるおそれのある場所、および高温多湿なところでは使用しないでください。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

4

部品の確認

次の部品があることを確認してください。



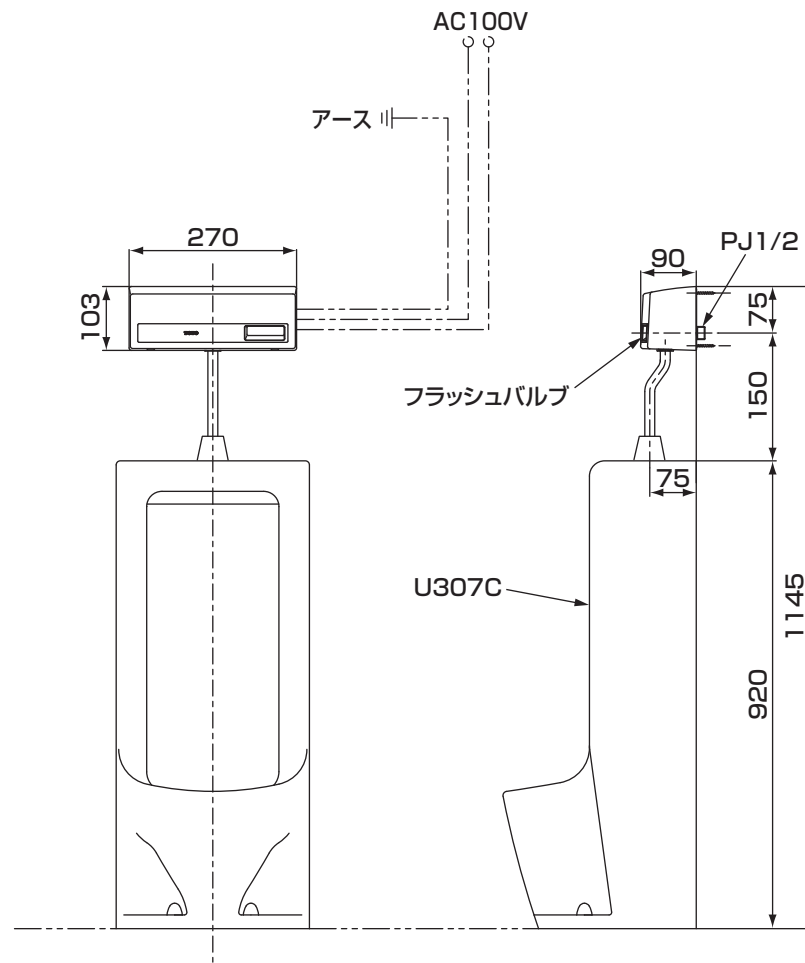
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

5

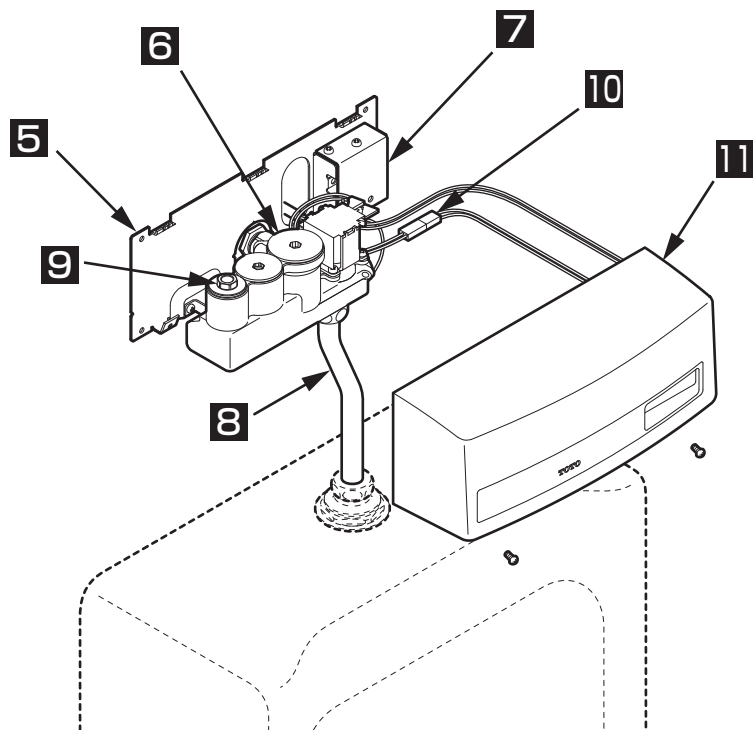
完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

<TEA98型>
(U307Cにセットした場合)



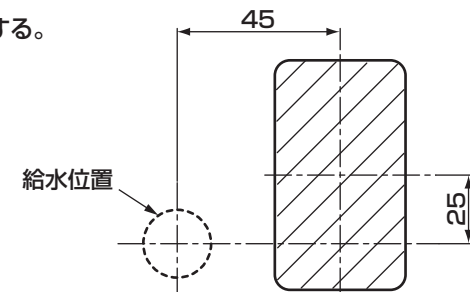
6-1 施工手順



- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1 スイッチボックスの取付位置の墨出し | 6 バルブ本体の取り付け |
| 2 下地壁のはつり | 7 電源線・アース線の接続 |
| 3 スイッチボックスの取り付け | 8 洗浄管の取り付け |
| 4 下地壁の埋め戻し | 9 止水栓を開く |
| 5 取付板の取り付け | 10 コネクターの接続 |
| | 11 カバーの固定 |

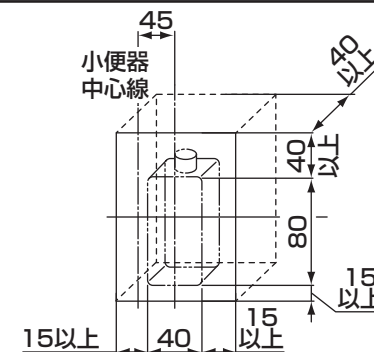
1 スイッチボックスの取付位置の墨出し

下地壁に取付位置を示す中心線を墨出しする。



2 下地壁のはつり

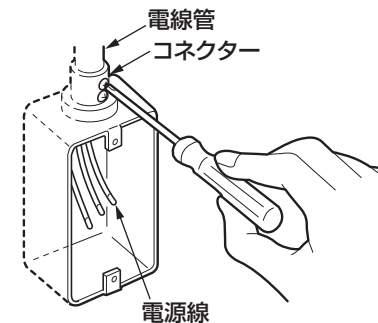
図の寸法に合わせて下地壁をはつる。



3 スイッチボックスの取り付け

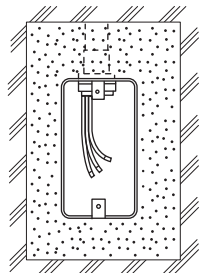
●電線管コネクターにより電線管とスイッチボックスを接続する。

- 使用ボックス: 1個用スイッチボックス (カバーなし) (JISC8340、現場手配)
- 電気配線の取り出しは、電気工事店様に依頼してください。



4 下地壁の埋め戻し

スイッチボックスの周囲をモルタルで埋め戻す。



5 取付板の取り付け

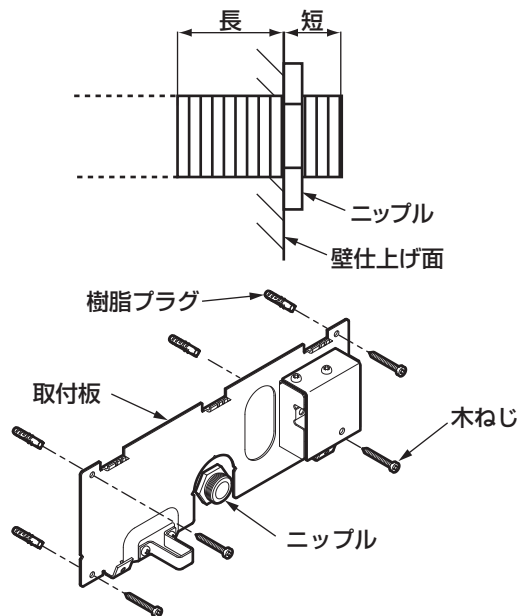
①給水管内のごみ・砂などを完全に洗い流したあと、同梱のニップルを給水管にねじ込む。

②取付板に切り欠きを給水心に合わせ、取付板を壁に樹脂プラグと木ねじで固定する。

φ5mmのドリルで、約30mmの深さの下穴をあけ、樹脂プラグを壁に打ち込む。

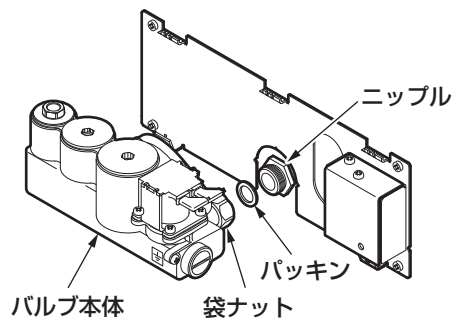
注意

- ニップルは長い方を給水管側にしてください。
- 取付板は水平に取り付けてください。



6 バルブ本体の取り付け

バルブ本体の袋ナット部にパッキンを入れ、袋ナットをねじ込み固定する。

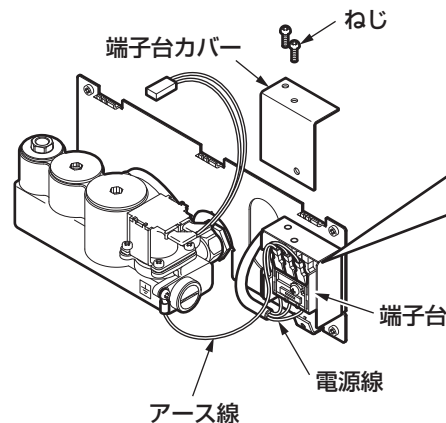


7 電源線・アース線の接続

①スイッチボックスから電源線、アース線を取り出し、下図のようにそれぞれ端子台の一次側へ接続する。

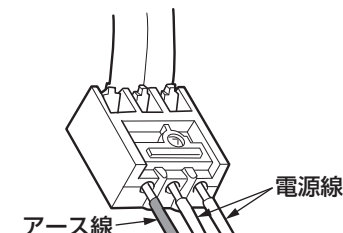
より線の場合は、松下電工(株)製(WV2502)の絶縁被覆付棒型圧着端子(フル端子用1.25mm²~2mm²用)をお使いください。

②バルブ本体のアース線を端子台の二次側へ接続する。



結線方法

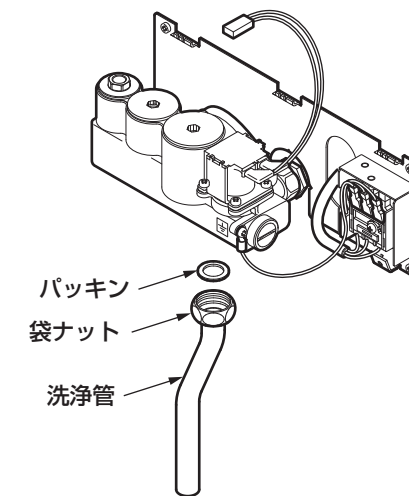
- ①器具表面のストリップゲージに合わせて電源線被覆を15mmむいてください。
- ②端子穴に心線をのぞき穴から確認できるまで奥まで確実に差し込んでください。



8 洗浄管の取り付け

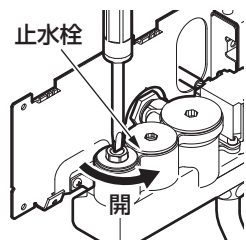
洗浄管を取り付けて小便器と接続する。

洗浄管は3種類同梱していますので、小便器に合わせて選択してください。



9 止水栓を開く

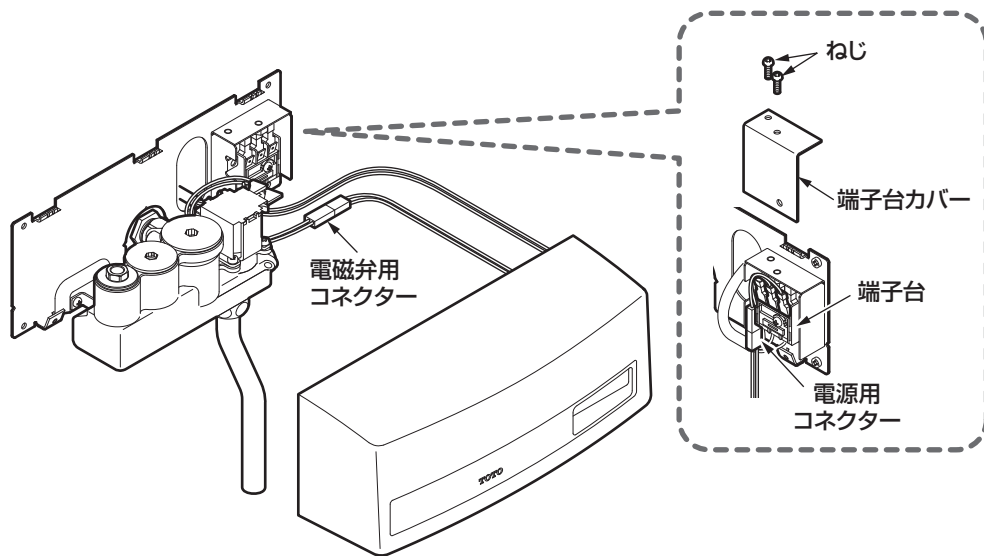
マイナスドライバーで止水栓を開く。



10 コネクターの接続

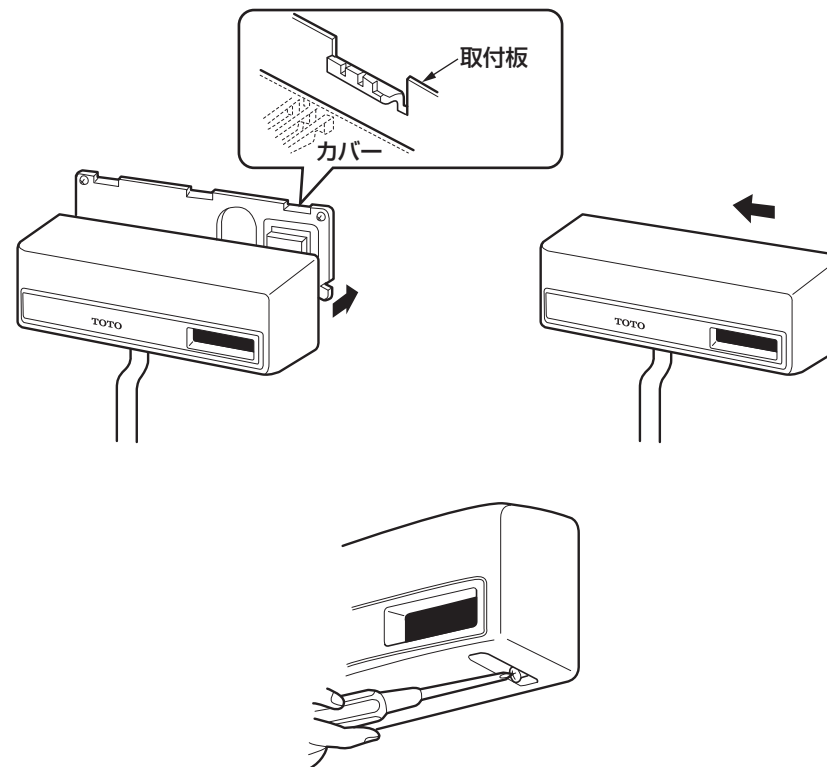
電源用コネクター(2P)と電磁弁用コネクター(2P)をそれぞれ接続する。

※コネクターを接続するときは、カバーを小便器の上などに置いてコードに荷重がかからないようにしてください。
(カバーを落とすとコネクターのピンが抜ける場合があります。ご注意ください)



11 カバーの固定

- ①取付板とカバーの凹凸をあわせて、まっすぐはめ込み、左にカバーをずらす。
- ②カバーの座部をねじ止めし、固定する。(M4×2本)



7

試運転

取り付けが完了したあと、次の方法で確認を行ってください。

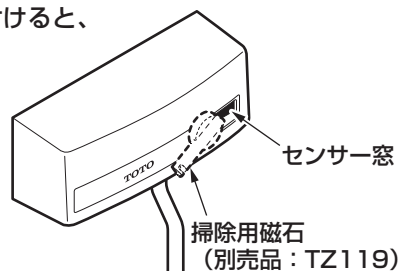
小便器の前に立ち、人を感知するとランプが点灯、人が立ち去るとランプが消灯すると同時に洗浄水が流れたあと、完全に洗浄水が止まることを確認してください。



感知表示ランプが
消灯しない場合

対向壁などを感知していますので、感知距離の調節が必要となります。
調節方法は「**感知距離の調節**」を参照してください。

掃除用磁石（別売品：TZ119）をセンサー窓に近付けると、
洗浄水が流れることをご確認ください。



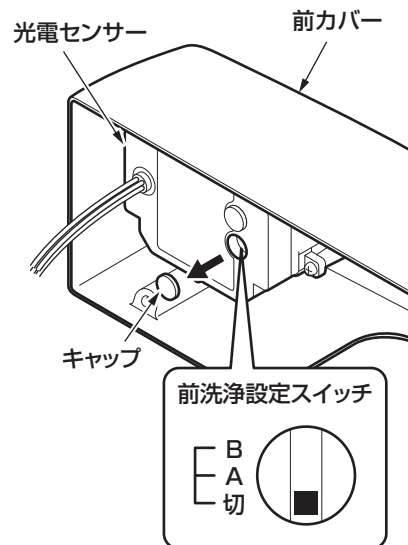
使用者に操作方法がわかるように、光電センサーに近い壁面にラベル貼り付けてください。

8-1

施工後の調節

前洗浄の設定

工場出荷時には「切」の位置に設定しています。前洗浄する場合は、スイッチを「A」または「B」の位置に設定してください。



1. 前洗浄設定スイッチのキャップを外す。

2. スイッチを切り替える。

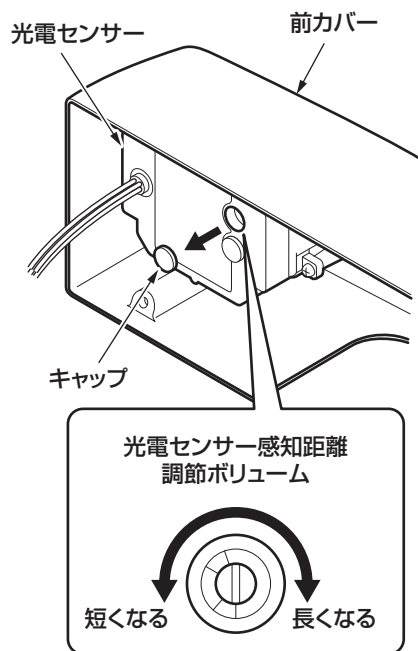
「A」・・・感知約2秒後に洗浄します。
「B」・・・感知約5秒後に洗浄します。

設定の際には精密ドライバーなどで無理な力を加えないように行ってください。

裏面へつづく

感知距離の調節

感知距離は、工場出荷時は「700mm」に調節していますので、通常の調節は不要です。万一、通常の使用状態で感知しなかったり、対向壁などを感知してしまうときは、次の要領で調節してください。



1. 光電センサー感知距離調節ボリュームのキャップを外す。

2. マイナスの精密ドライバーでボリュームを調節する。

感知しない(感知表示ランプが点灯しない)場合、**時計回り(長)**に回してください。

感知したまま(感知表示ランプが消灯しない)の場合、**反時計回り(短)**に回してください。

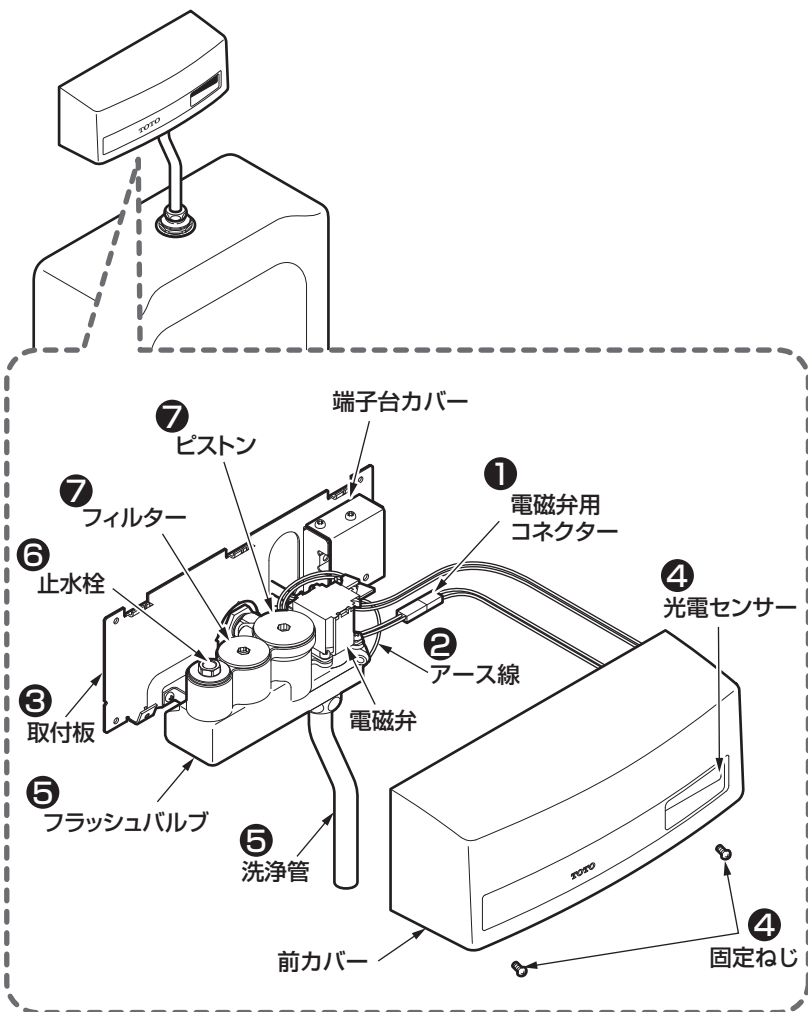
※ボリュームは、少しずつ回して調節してください。

※感知距離を必要以上長くすると、誤作動の原因になります。必要最小限にとどめてください。

※調節の際はカバーを必ず片手で保持してください。光電センサー付きカバーを落とすとコネクタのピンが抜ける場合があります。

※設定の際には精密ドライバーなどで無理な力を加えないように行ってください。

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



配線の確認

コネクターおよび電源線・アース線が接続されているか確認してください。

①各コネクターは確実に接続していますか？

②電源線・アース線は確実に接続していますか？

↳ ⑥-3 - ⑩「コネクターの接続」参照

↳ ⑥-2 - ⑦「電源線・アース線の接続」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

⑤各接続部はしっかり締め付けていますか？

↳ ⑥-2 - ⑥「バルブ本体の取り付け」参照

↳ ⑥-2 - ⑧「洗浄管の取り付け」参照

洗浄水量の確認

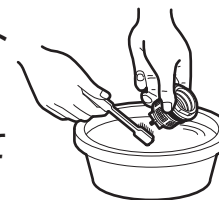
洗浄水量が少ないときや、設定通りの洗浄水量が出ない場合は、次の項目を確認してください。

⑥ 止水栓は開いていますか？

↳ ⑥-3 - ⑨「止水栓を開く」参照

⑦ フィルター・ピストンのごみ詰まりはないですか？

↳ フィルター・ピストンの掃除をする。掃除方法は、取扱説明書を参照してください。



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

③ 取付板はしっかり取り付けられていますか？

↳ ⑥-2 - ⑤「取付板の取り付け」参照

④ 光電センサー付きカバーはしっかり取り付けられていますか？

↳ ⑥-3 - ⑪「カバーの固定」参照

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。